



2013. 4・25.

発行 神戸三宮センター街2丁目商店街振興組合 (tel331-3091) (fax333-8591)

2丁目タイム4月号

編集：企画・商業振興部、編集長：芹澤邦明

<http://www.centergai2.com> E-mail:centergai2@nifty.com

★ストリートミュージアムに新しい仲間が加わりました！

三宮センター街2丁目が進めている「アートストリート構想」に於いて、今回で8作目となる作品の収蔵



式典が4月6日(土)に行われました。新しい作品は「**條痕のある石**」で2001年に亡くなった広島県出身の彫刻家、山口牧生先生の作品です。除幕式展には矢田神戸市長を初め、山口先生のお嬢様で山口さとこさん、神戸市内の児童養護施設の生徒さん、ANA客室乗務員の皆様など多くの関係者が参集して下さり、久利理事長の挨拶の後、山口さとこさんに感謝状と記念品が贈



呈されました。矢田神戸市長からもご祝辞を頂き、その後歌手の妃月洋子さんがミニライブで素敵な曲をプレゼントして下さいました。美しい作品が年々埋め込まれ、アートの風が軽やかに流れている街、その様な素敵な街に行きたいと願っています。決して一過性のイベントなどに頼るのではなく、街全体に気品さが感じられ、誰もが安心して楽しめる街です。来年は丹波の第1人者市野雅彦先生の作品です。また新たな作品も予定しています。どうぞ楽しみに！！

★センター街1丁目のスクリーンは東北との連携のシンボルです

三宮センター街1丁目にある大型情報設備(BLUE OCEAN STATION)は阪神淡路大震災より10年目にあたる



平成17年1月17日に復興のシンボルとして設置されたものです。皆様もご覧になられたことがあるかと思いますが、西日の影響を受ける時間帯は映像の鮮明さが急減するという欠点を抱えていました。それがこの度、東日本大震災の被災地である宮城県気仙沼市の金属加工・建築施工会社「**高橋工業**」さんの手によって遮光設備が完成し、3月23日にお披露目されました。実は



この遮光設備は大震災の直前に完成していたのですが津波に流されるという試練を乗り越え再度創られました。その構造・機能・出自から「船」として捉えられ、竣工式典を「光を運ぶ船 進水式」と銘打ち、神式で厳かに行われました。式典の最後ではシャンパンが一般の方も含めてふるまわれ、新しくなった復興のシンボルを祝っていました。神戸は東日本大震災に会われた方々といつまでも手をつなぎます。

★阪神三宮駅改良工事竣工式典

三宮の玄関口である阪神三宮駅が実に5年余りに及ぶ改良工事を終え、美しく便利になって全面オープン



しました。総事業費はなんと130億円で、旧三宮駅が抱えていた数多くの問題、バリアフリー化・非常時の脱出口の拡充・駅での乗り継ぎの円滑化といった諸問題がクリアされました。3月20日のオープンセレモニーは三宮駅で華やかに行われ、多くのメディアにもお披露目されました。その後、勤労会館にて**阪神電気鉄道(株)**主催で竣工式典が開かれ、出席者には井戸兵庫県知事、矢田神戸市長をはじめ、国土交通省 近畿運輸局長といったそう

そうたる方々と経済界の面々の方々、約120名が参集され久利理事長も鏡割りで祝いました。皆様のご挨拶の端々に取り上げられていたのは、やはり大阪との競合関係やこれからの神戸の展望でした。間断なく続く大阪の再開発に押されっぱなしではなく、神戸もJR三宮駅の再開発や阪急三宮駅の再開発といったビッグプロジェクトが控えており、これから大きく発展して行くんだという熱い熱意が感じられ、勇気と

自信を分けていただきました。歓談の最後にはやはり六甲おろしを全員で大合唱し、大いに盛り上がり、興奮冷めやらぬまま帰路に着きました。これからの神戸が楽しみです。

★沖縄の女性の皆さん、ありがとうございました

4月15日に既に行われた「THANKS おきなわ・ANA 交流会」の事前打ち合わせのため4月3日に久利会長、片岡幹事が沖縄を訪問した際に、長濱企業グループ会長、那覇商工会議所女性会相談役の長濱文子さん、元副知事で那覇空港ビルディング安里会長さんの歓迎をうけました。4月15日の交流会会場ではソロプチミストの皆さんから「夢・未来号へ沖縄の女性からの気持ちです」と過分な御心遣いを頂きました。篤く御礼申し上げます。



★氏神さん生田神社の春祭りです

私達三宮の氏神さん生田神社の春祭り（生田祭）が4月14日・15日の二日間で賑やかに行われました。



今年のお祭りは下山手地区（中山手通り・下山手通り6・7・8丁目、北長狭通り6・7丁目、花隈町）の御奉仕当番により行われました。14日の神幸祭には、500名にも上る行列が巡行されました。特にこの下山手地区は数年前まで生田神社の御分社があった地域で昔からの敬神家が多く住まわれている地域でもあります。また本年は三宮センター街2丁目近藤理事のマスヤ(株)さん（本社元町本通り3丁目）においても、神受所が設けられお神輿が練られました。



14日の午後5時頃からはHATENAインフォメーションセンターにて三宮地区神受祭（三宮地区繁栄祈願）が行われ、多数の参列があり、大いに賑わいをみせていました。15日には生田祭氏子奉幣祭が本殿に於いて執り行われ、その中で女性四人により優雅で華やかな神楽舞が披露されました。日本の歴史の深さと悠久の時の流れを感じる素晴らしい舞でした。

★「THANKS おきなわ・ANA」で沖縄を楽しみました！



「神戸夢・未来号」プロジェクトに毎年多大なるご協力をいただいている沖縄の皆さん、全日空（ANA）さんへ感謝する趣旨で、今年も2泊3日の旅程で「第7回 Thanks おきなわ・ANA」が沖縄県那覇市で開催され、神戸からは130名が参加しました。交流会では、上原前副知事をはじめとする沖縄県からのご協力者、ANA関係者、総勢60名の方々と親睦を深めました。久利会長、上原前副知事のご挨拶に続き、神戸側代表としまして小

柴副市長から心温まるメッセージをいただきました。安里元副知事から今回交流会にお越しのソロプチミストの方々を紹介していただいた後、嘉数元副知事のご発声による乾杯を行いました。その後「チャームティングティアラ」によるフラダンスや、ミヤギマモルさんと妃月洋子さんのステージが宴に花を添えました。年を追うごとに交流の輪の広がりを感じ、早くも次回の交流会が期待されるすばらしい会となりました。

交流会にご参加下さいました皆様に厚く御礼申し上げます。二日目は、「神戸夢・未来号」プロジェクトの視察地に赴きました。首里城→ひめゆりの塔→摩文仁の丘→おきなわワールドの順に見学致しましたが、特に、太平洋戦争で多くの犠牲者をだした「ひめゆりの塔」と「摩文仁の丘」を訪問した際、これまで机上でしか知らなかった戦争の事実を肌で感じ、そこでの雰囲気や風を直接感じたことによって、この戦争を絶対に忘れてはならないという思いと、なぜ自分が今生きているのか、自分が生きている意味や平和の尊さについて改めて考えさせられました。



★編集後記

ホントにびっくりしましたねえ。4月13日朝5時33分、一瞬また来たあー、と思いました。頼むから早くこの揺れ止まってくれ、、、と心の中で叫んでいたのは私だけではないと思います。もうあの震災は二度と経験したくないものです。有難いことに神戸を想って下さる方々から心配のご連絡を多数頂きました。特に現在、北京におられる全日空董事総経理の飯島様から発生直後理事長にお電話があったそうです。ホントに有難いことです。日頃のお付き合い絆がいかに大事か、心しておかなければと再度認識させていただきました。

神戸を想って下さる多くの方々に感謝しております。有難うございました。